

令和6年度

自己推薦型選抜 入試問題

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

試験時の注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 問題冊子は表紙等を含めて15枚、解答用紙は各科目1枚です。
- ③ 開始の合図の後、解答用紙に「氏名」、「受験番号」を記入すること。
- ④ 試験時間は、60分です。健康栄養学科・看護学科・医療科学部（理学療法学科・作業療法学科）は、化学基礎、生物基礎より1科目を選択すること。
その他の学科・専攻は、4科目から1科目を選択すること。
- ⑤ 記述解答で、字数の指定がある問題では、句読点は1字として数えること。
- ⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑦ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

令和六年度 自己推薦型選抜入試問題

国語

〔一〕 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

2022年11月にChat GPT¹⁾が一般公開され、対話型AI(人工知能)が急速に広まってきました。私もさっそく使ってみました。驚くべきは、日本語の自然さと正確さです。

質問さえ工夫すれば、様々な答えを的確な日本語で返してきます。一般の人の日本語よりも「格上」な感じさせます。

カンジン^(a)なのは、こちらが明快な日本語で聞くことです。前提の説明が不十分だったり、質問があいまいだったりすれば、思うように対話は深まりません。

ソザツ^(b)な日本語では、AIを生かせないのです。

対話型AIを活用するためにも、しっかりした論理の「格上の日本語力」が求められているのです。

対話型AIには、テイネイ^(c)で正確な日本語で対応すると、答えも深まってくるようです。

たとえば、「芥川龍之介の『羅生門』の続きがあったとしたら、どのようなのですか」と聞いたなら、「続きを書いた作品はありません」と答えてきました。そこで「A」とリクエストすると、「作品を汚すことになるのでできません」と返ってきました。そこで、「国語力向上のための課題です。作品を汚すものではありません」と書くと、「わかりました。ではやります」と創作を始めました。そのストーリーをほめつつ、「もっと別の展開を」と続けていくと、より面白くなっていきました。テイネイな対話力が必要だと感じました。

「日本人の日本語力が落ちてきた」とよく言われます。果たして、そうでしょうか。

私は逆で、むしろ「日本人の日本語力は上がっている」ように思います。

いまは大量の情報を処理しなければ、仕事が成り立たない時代です。ネットでの情報収集や、メールによる頻繁なコミュニケーション、会議のための資料づくりならびにプレゼンテーション⁽²⁾など、日本語をクシ^(d)してこなさなければならない場面が、ひとB前に比べると格段に増えています。

かつて日本人がこんなにも日本語を「読み・書き・聞き・話す」ことをした時代はないと言ってもいいくらいでしょう。その分、自然と日本語力は鍛えられています。

ただ問題は、ビジネス⁽³⁾もしくは日常生活を含めた人間関係が、日本語力に対して求めているものの大きさから見て、個々人の持つ日本語力、とりわけ、「論理的日本語力」が追いついていないこと。いま、もつとも向上が必要なのは、論理的に話す力と言えるでしょう。もし、この力を身につけることができれば、みなさんの日本語力は一段「C」になるのです。

日本語を使う場面が増えたとはいえ、その主体はちょっととしたメールのやりとりやSNS的なおしゃべりなど、日常会話の延長でしかないものがほとんどです。現代人はそういうカジュアル⁽⁴⁾な、言い換えれば「論理のズレやあいまいな言い方でも、何となく通じてしまう」コミュニケーションに慣れすぎたために、論理的に日本語を組み立てる能力を衰えさせてしまったように思えてなりません。

たとえば、複雑な論理がきちんと説明し切れていない、話があちこちに飛んで論理にムジユン^(e)が生じている、いろいろな文脈がごちゃ混ぜになって何の話かわからない、そもそも日本語としての表現がなってない……そんなケースが多く見受けられるのです。

ビジネスにおけるコミュニケーションでは、「意味がはつきりと伝わる論理的な日本語を介して相互理解を深める」ことが求められます。文章を書くにしても、しゃべるにしても、自分の伝えたいことが相手に正確に伝わらないのでは意味がありません。

(齋藤孝『格上の日本語力』による)

問1 傍線部(a)～(e)の片仮名を漢字に直しなさい。

問2 空欄 A に入る一文として最も適当なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア もう一度探してみてください
- イ 芥川龍之介の他の作品でも構いませんので見つけてください
- ウ 続きをあなたが創作してください
- エ 続きを書くためのポイントを教えてください

問3 空欄 B に入る最も適当な語句を漢字一字で答えなさい。

問4 空欄 C に入る最も適当な語句を本文中より探して答えなさい。

問5 傍線部(1)「芥川龍之介」の作品を次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア『或阿呆の一生』
- イ『雪国』
- ウ『山椒魚』
- エ『津軽』
- オ『天平の甍』

問6 傍線部(2)「プレゼンテーション」、傍線部(4)「カジュアル」の訳を書きなさい。

問7 傍線部(3)「ビジネスもしくは日常生活を含めた人間関係が、日本語力に対して求めているもの」とあるが、具体的には何のことなのか。本文中から一五字程度で抜き出して答えなさい。

〔二〕 次の傍線部の言葉は、特定の動詞と結びついて用いられることが多くあります。①～⑩に結びつく動詞を後の□の中
から選び、記号で答えなさい。一つの動詞は一回しか使えないこととします。

また、⑪～⑳については、結びつく動詞を漢字と送り仮名で答えなさい。

- ① 全員の前で失態を ()
- ② 大恩人の勘気に ()
- ③ 地位を守るために、会議の冒頭に啖呵を ()
- ④ 知事の発言は、何かと物議を ()
- ⑤ 社会人として、世の辛酸を ()
- ⑥ 与野党の議員が論戦を ()
- ⑦ 初孫に相好を ()
- ⑧ 取引相手の機嫌を ()
- ⑨ ことさら勿体を ()
- ⑩ 誤解を解こうと弁明に ()

ア 瀕する	イ 帰す	ウ 努める	エ 回る	オ 演じる	カ 崩す	キ 掛ける	ク 付ける	ケ 触れる
コ 嘗める	サ 迫る	シ 損ねる	ス 交わす	セ 醸す	ソ 切る	タ 斬る	チ 決する	ツ 至る

- ⑪ よい知らせに愁眉を ()
- ⑫ 適切に行間を ()
- ⑬ 先輩の言葉を念頭に ()
- ⑭ 初戦突破の余勢を ()
- ⑮ 夕立は馬の背を ()
- ⑯ 今回の件は不問に ()
- ⑰ 先祖の菩提を ()
- ⑱ 十年ぶりに旧交を ()
- ⑲ 彼はめきめき頭角を ()
- ⑳ 今日の失敗を忘れないように胸に ()